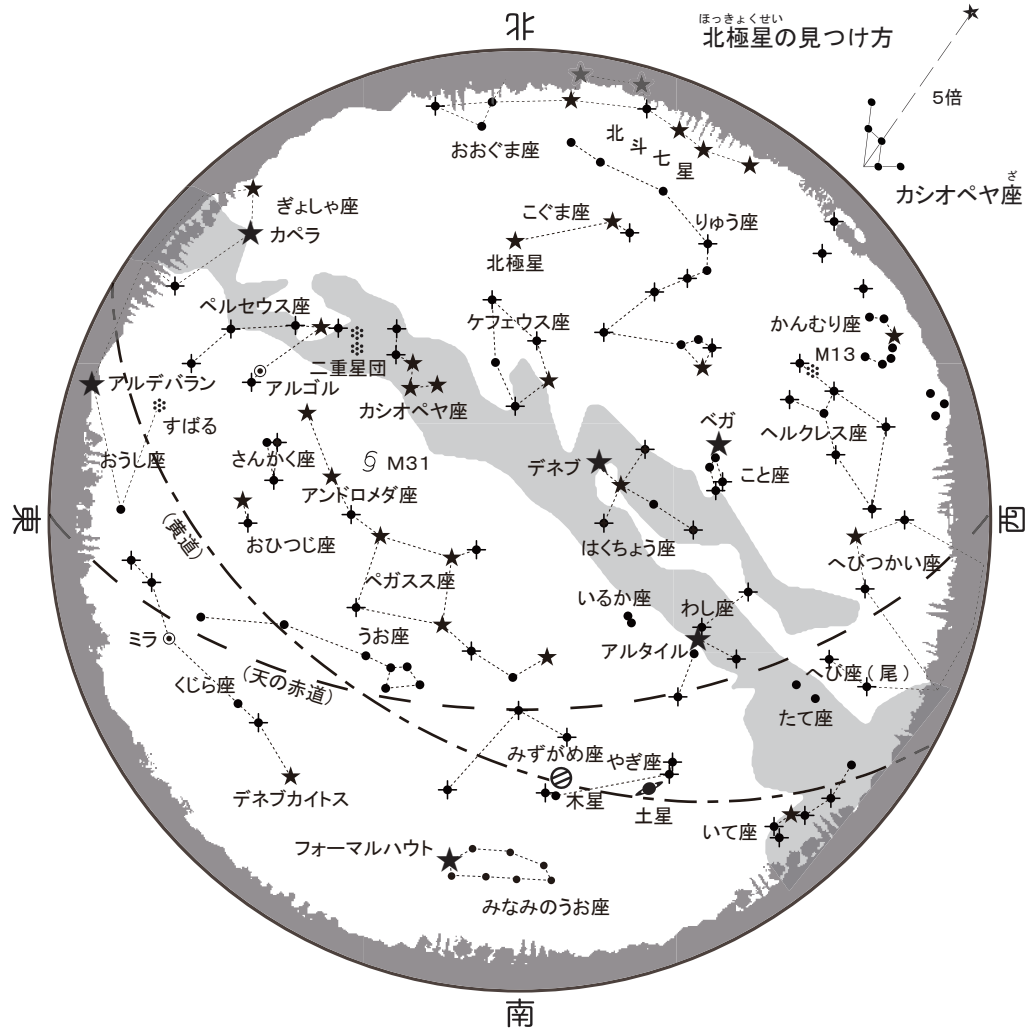


# 富山でみえる 2021年10月の星空

自分の見たい方角を下にして、その方角の空を見てみよう。



- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ※ 星団
- ☁ 星雲
- ☾ 銀河

～この星空が見えるのは～  
 10月 5日 午後9時ころ  
 10月 20日 午後8時ころ  
 11月 5日 午後7時ころ

～月のようす～  
 10月 6日 新月 ●  
 10月 13日 上弦 ○  
 10月 20日 満月 ○  
 10月 29日 下弦 ○

## ペガスス座



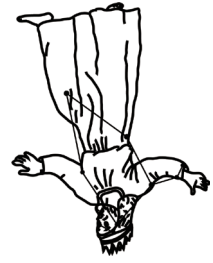
「秋の四辺形」と呼ばれる大きな四角形の星の並びがあり、秋の星座たちを探す目印です。ギリシャ神話に出てくるペガススは、勇者・ペルセウスの愛馬で、空を飛ぶことのできる翼をもっています。星座絵では、後ろ半分が雲にかくれて見えません。

## カシオペヤ座



北極星を見つけるための星座としてよく知られています。古代エチオピア王の妃・カシオペヤがモデルになっていて、5つの星が「W」字の形に並んだ特徴のある形をしています。秋には、時刻が進むに連れてひっくり返ってMの形に見えます。日本では地平線に沈むことなく、一年を通して北極星の周りを回っています。

## ケフェウス座



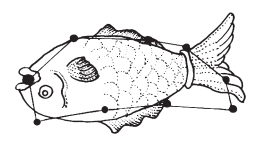
北の空にある五角形の星の並びが特徴の星座です。カシオペヤ座の隣にあり、ギリシャ神話ではカシオペヤ王妃の夫、アンドロメダ姫の父親です。とても濃い赤色をした「ガーネットスター」などの星があります。

## みずがめ座



ペガススの頭の星の南からフォーマルハウトへつながる、暗い星の並びがみずがめ座です。ギリシャ神話では、どんな美しい女性にも勝る容姿をもつと言われた少年ガニュメデスが大神・ゼウスによって天に上げられ、水瓶を持っている様子とされています。

## みなみのうお座



南の空の低いところで、ぽつんとかがやいている白色の1等星フォーマルハウトが目印です。フォーマルハウトはアラビア語で「魚の口」という意味で、名前のように、ここが魚の口の部分になっています。「秋の一つ星」や「南の一つ星」とも呼ばれています。

# せいざ 秋の星座の見つけかた



10月中ごろ 午後8時ころ

- 1 頭の真上（天頂）から少し東のところに、秋の四辺形を見つけます。
- 2 秋の四辺形の西側の辺を南にのばし、みなみのうお座のフォーマルハウトを見つけます。
- 3 フォーマルハウトの上にみずがめ座があり、さらにその西側に逆三角形の形をしたやぎ座を見つけます。
- 4 西の空にまだ見えている夏の三角形や、その近くにある、や座、いるか座、こうま座も見つけてみましょう。

## ○ 月面に「X」の文字出現！

10月13日の月は上弦の月。この日、月の明暗の境に「X」の文字が浮かび上がる「月面X」が見られます。月の表面にはクレーターと呼ばれる隕石の衝突でできたくぼ地や山・谷が多くあります。これらに太陽の光が当たると、光の当たる角度によっては影ができて立体的に見えます。「X」の文字は、プランキヌス、ラカイユ、プールバツハという3つのクレーターの壁によって作られた地形で、月面の暗いところに浮かび上がって見えます。「月面X」が見られるのは20時20分頃の前後30分程度と短いのですが、大小様々な望遠鏡で観測できます。



## ○ 美しい土星の環

土星は美しい環を持つ惑星です。太陽系の惑星の中で、小型望遠鏡でも見事な環を見ることができるのは土星だけです。大きな望遠鏡になると環の構造や本体の縞模様なども見えてきます。地球から見る土星の環は、約15年周期で傾きが変化して見えます。環が最も開いて見えた2017年以降、開き方が年々小さくなっています。2025年には環を真横から見ることになり、たいへん薄い土星の環はこのとき一時的に見えなくなります。次に環が大きく開いて見えるのは2033年頃。このように、環の見せ方を変えていく土星の姿も楽しんでみましょう。

